

都公中事 Kaihō

編 集 発 行

平成17年7月22日発行 第360号

東京都公立中学校事務職員会

代 表 戸上輝世（足立区立西新井中）

編 集 佐藤重雄（板橋区立加賀中）

連絡先 〒173-0003 板橋区加賀2-19-1
03(3964)1954

八木（八王子） 平井（東村山）吉野（清瀬）

大川（葛飾） 横山（江戸川） 田村（荒川）

福田（足立） 森田（青梅）

平成17年度東京都公立中学校事務職員会定期総会開催される

平成17年度東京都公立中学校事務職員会定期総会は、5月13日（金）新宿区立角筈区民センターで開催されました。

当日は、代議員出席者92名、委任状14名、計106名（基準145名過半数73名）の出席があり、総会が成立しました。

今年度の総会は、例年になく活発な議論が飛び交い、すべての案件が承認されました。

会員の皆様、お忙しい中のご参加ありがとうございました。都公中事、役員一同は当総会でのご意見を真摯に受け止め、現状の問題等の解決に努力、邁進していく所存です。会員の皆様には、より一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

総会に先立ち、東京都教職員互助会の企画財政課企画係長青木広和様、並びに互助事業担当課福利事業係長兼務給付係長の秋本重雄様から教職員互助会の事業説明がありました。青木様からは、互助会全般のご説明、秋本様からは、医療互助のご説明をしていただきました。お二人には、お忙しいところをお越しいただきありがとうございました。書面を借りまして御礼申し上げます。

会 長 職 に 就 任 し て

戸上 輝世

小中・中高一貫校、学区域の自由化など学校制度の改革により、学校が大きく変わってきました。義務教育費国庫負担金の問題も決着のときを迎え、公務員制度改革では能力等級制の導入が目前に迫り、私たちを取り巻く状況は難局を極めていきます。

仕事の量は増える一方です。上司が教育職員という特殊な職場環境の中で、時間に追われ、心もからも余裕がなくなって、多くの悩みやストレスを抱えながら仕事に励んでいる仲間が増えています。このような時代を乗り切る学校事務職員の支えとして、事務職員会の存在意義が増しています。

私は日ごろから環境問題に配慮しながら行動していると自負しておりますが、私個人ができることはリサイクルやごみの減量など身近なものばかりです。それでも意識していることが大切であり、必要なことだと思っています。事務職員会も同様に、会員一人一人がそれぞれの立場で参加をいただき、支えていただきたいと思います。

事務職員会活動を取り巻く厳しい状況の中で、会長職を務めさせていただくには正直、力不足と認識しておりますが、会員の皆様並びに役員と一丸となって、全力で取り組んでまいります。会の発展のために、ご協力とご指導を賜りますれば幸いです。

< 各委員会事業報告 >

研修委員会

研修委員会主催の第一回研修会を平成17年5月27日(金)新宿区立若松地域センターで開催いたしました。

「雨水(あまみず)利用の現状を学ぶ～雨水で地域と地球が見えてきた～」を研修内容として行いました。講師には墨田区役所勤務、薬学博士 Dr.雨水こと村瀬 誠氏をお迎えしました。村瀬氏は、国内はもとより国際的にも活躍されている方です。「集中豪雨による都市型洪水」「湧水の枯渇」「夏の渇水」「文明と水資源」「世界の現状」など広範囲にわたって水利用がいかに大きな問題であるかを学びました。

調査研究委員会

調査研究委員会は、その名の通り、都公中事の調査および研究を行っております。

今年度の委員会活動ですが、昨年度から検討をしております「個人情報の保護」の研究を引き続き行っていきます。一口に「個人情報の保護」といっても、パソコンやインターネットによる情報化社会下では、情報の共有といった利便性と適切にマッチしたものを考えなければならないと思います。しかしながら、情報を取り扱う側としての責任の重大さも十分に理解していない状況では、「個人情報の保護」は出来ません。

そこで、調査研究委員会では、今年の4月から施行された個人情報保護法・各自治体で出された条例の主旨やパソコンやインターネットを使用したときに考えられる情報漏えいの事由などを今後CD-ROMにまとめまして、配布する方向で活動していきます。それに際しまして、会員の皆様に個人情報保護に関するアンケートをお願いする予定ですので、今後とも調査研究委員会へのご理解とご協力、よろしくお願いいたします。

広報委員会

今年度最初の会報第360号を発行しました。

今回は、平成17年度定期総会、研修委員会主催の研修会の報告を主に編集をしました。

また、今年度は新規採用の会員の方がいらっしませんので、昨年新規採用の方から「学校事務1年経って」の感想を掲載いたしました。ご覧下さい。

今年度も会員の皆様により良い情報提供に努めて参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【今後の予定】

会報	第360号	本号
	第361号	9月頃 全事研大会報告 研修会報告他
	第362号	11月頃 小中都立研究大会 研修会報告他
	第363号	1月頃 都公中事研究大会案内他
	第364号	3月頃 都公中事研究大会報告他
研究集録編集発行		大会当日
小中都立研究大会記録集		3月頃



学校事務研修会のお知らせ

研修委員会では、来る8月8日(月)午後2時より国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて学校事務研修会を企画しております。

研修内容については、「接遇について」で、講師の方は(有)香取感動マネジメント代表取締役 香取貴信氏です。接遇について最も成功し徹底しているディズニーランドのノウハウから学びます。

この方は、サービス施設の従業員教育や、運営を支援する会社(株)SHUU 研究所に勤務し、在籍のかたわら(有)香取感動マネジメントを起業され、サービスを感動としてとらえて「感動マネジメント」を多くの方に伝える活動をしておられる方です。多数の方々のご参加をお待ちしております。



平成 17 年度 役 員 分 担 表

役 職	氏 名	所 属	担当支部	兼任職務
会 長	戸上 輝世	足立区立西新井中	足立・武蔵野・稲城	全事研支部長・関事協支部長・都教弘理事
副 会 長	伊藤 正	清瀬市立清瀬中	清瀬・西東京・立川・狛江	都教弘評議員
	新井 一正	板橋区立志村第一中	豊島・板橋・三鷹・東久留米	関事協幹事
	山田 賜実	日野市立三沢中	日野・大島・八丈・三宅・小笠原	情報管理担当
書 記	高橋 博	板橋区立高島第二中	渋谷・町田・調布・小平	全事研理事
	湯村まさみ	北区立清至中	新宿・杉並・北・中野・江戸川	Web ページ担当
	小林 都	中央区立日本橋中	中央・小金井・青梅・国立	
会 計	田端 滋	文京区立第一中	港・文京・台東・品川	
	松島 正	墨田区立堅川中	墨田・目黒・昭島・府中	
監 事	三ツ畑 税	江戸川区立葛西第三中		
	牧野 克広	文京区立本郷台中		
調査研究 委員長	藤田 勝	八王子市立由井中	八王子・多摩・国分寺・東大和	全事研評議員・関事協評議員
広 報 委員長	佐藤 重雄	板橋区立加賀中	国立・東村山・西多摩・武蔵村山	関事協評議員
研 修 委員長	小宮山恵子	葛飾区立青戸中	荒川・練馬・葛飾	
役選管理 委員長	松田 典男	足立区立第六中	千代田・江東・大田・世田谷	

どうぞよろしくお願ひいたします



仲間だけにおしえて 東村山市

文化財・史跡

正福寺(地蔵堂)

正福寺にある「地蔵堂」は都内唯一の国宝建造物に指定されています。堂内には、小さなお地蔵様がたくさん奉納されており、このことから千体地蔵堂とも呼ばれています。

* 現在屋根の葺き替え工事のため、9月までは見学ができません。

11月3日に地蔵祭りが開催されますので、ぜひおいでください。

正福寺の千体地蔵堂

(野口町4丁目、西武新宿線東村山駅西口から徒歩20分)

公園

北山公園と八国山緑地

北山公園は新東京百景に選ばれた自然公園です。

初夏には150種類10万本以上の花菖蒲が一面に咲き乱れ、多くの人でにぎわいます。

そして北山公園の背後に広がる森が、トトロの森のモデルとして有名な八国山緑地です。

新田義貞鎌倉討伐などの戦があった場所でもあり、山頂には將軍塚、ふもとは久米川古戦場碑があります。

北山公園(野口町3丁目4丁目、西武新宿線東村山駅西口から徒歩25分)

一面の花菖蒲(北山小 篠崎さん撮影)カラーでお見せできないのが残念です

麺どころ

東村山はうどんもおいしいところです。うどん屋と事務職員おすすめのラーメン屋をご紹介します。ただ、徒歩にはちょっと不便な場所です。

小島屋・・・昭和39年創業。薪で焚いたお湯で茹でています。肉汁うどんがおいしい。濃いめの醤油味。

野口町3-10-3 042(391)2638 東村山市境通り、廻田町4交差点角

ますや・・・麺は灰褐色の地粉のうどんです。こしがあっておいしい。

久米川町4-33-10 042(393)9481

府中街道の久米川辻交差点を、所沢方面から府中方面に右折してすぐ左手

中華麺江川亭・・・チェーン店なのでご存知の方も？

看板メニューの中華麺は醤油味がベースの豚骨スープ。ニンニクが効いていておいしいです。

042(397)9666 府中街道を所沢方面に進み、久米川町の信号を越えてすぐ左で。

支部の研修・研究活動

荒川支部

荒川区の学校事務職員による研修・研究活動は大きく2つに分けられる。

荒川区公立小中学校学校事務職員会による研修・研究

荒川支部の母体となる荒川区公立小中学校学校事務職員会は、小中学校・都費区費の区別なく全事務職員を会員としている。17年度より区費職員の約半数が非常勤職員に置き換えられたが、非常勤職員も正会員として位置付けている。

会員は本人の希望に応じ、文化広報部、事務改善部、財務電算検討委員会のいずれかの組織(専門部)に所属し活動することになっている。

このうち事務改善部では、仕事の改善箇所の研究や手引きの作成、区からの提案事項の検討などを行なっている。具体的には、自主作成の給与手引きの改訂、諸用紙書式の改訂要望の提出、会員作成によるエクセル仕様のソフトの共用管理等が挙げられる。

財務電算検討委員会は財務電算手引きの改訂のほか、区役所の情報システム課や収入役室との連絡調整等が挙げられる。

また荒川区公立小中学校学校事務職員会では、区の補助を受け、年2~3回自主研修を行なっている。弁護士や精神科医といった専門家や退職校長・先輩OBによる講演、インストラクターによる健康体操の実技やパソコンの実務活用など、専門にとらわれぬ幅広い視野に立った研修を行なっている。

荒川区教育研究会(荒教研)による研修・研究

事務職員会を中心とした研修・研究活動のほかに、区教委を中心に区内の教職員を対象にした「荒川区教育研究会(荒教研)」という研究組織がある。非常勤職員を除く事務職員会の会員は基本的に会費を納め「荒教研事務局」を構成することとなっている。部員は2~4班程度に分かれ、給与・旅費・施設管理・物品管理等実務に即した内容の研究を行なっている。毎年研究集録を作成するほか、隔年には研究発表を行っており、事務職員会の専門部のように事務職員自身のためだけの研究というよりは、教員や管理職にとっても役に立つことを念頭に研究をすすめている。

